

上尾歴史散歩

265

市制施行55周年特別企画

上尾サイクル紀行 ①

JR上尾駅西口～大宮花の丘農林公苑

「上尾サイクルマップ」で訪ねる郷土の歴史



「しょうつかの婆さん」の石像

昨年、上尾市が取り組む自転車「まちづくり」の一環として、私が在籍する自転車愛好家サークル「ぐるっとサイクリング同好会」は市と協働して「上尾サイクルマップ(西・東)」を発行した。

私と自転車との付き合いは、10年前に患った脳梗塞のリハビリとして始めたことがきっかけだが、自転車は手軽に行動範囲が広がり高齢者にも最適な交通手段である。上尾に住んで50年近く経ったが、マップの編集に当たってそれまで知らなかった郷土の魅力や魅力を数多く発見した。これらマップに掲載しきれない市内各地の様子を、歴史的な側面から紹介していきたい。それでは早速、西コースを出発しよう。

JR上尾駅西口から市民体育館通りを西に進む。この通りは近年整備され、車道・自転車道・歩道が仲良く並ぶ模範的な道路となった。新装した富士見小から通りを挟んだ

反対側には春日神社がある。敷地内には庚申塔が三つ並んでいるが、その内一番右側には正体不明の異様な石像が祠に収められていた。市生涯学習課でも詳細は不明であった。またここから100m以南の共同墓地には「しょうつかの婆さん」の石像が祀られている。しょうつかの婆さんとは葬頭河がなまったもので、三途の河原で亡者の衣服を剥いでしまう恐ろしい婆さんである。このような像が駅の近くにあることも面白い。

春日神社から500mほど進み、富士見橋の信号を左折すると対岸は鴨川・富士見親水公園で、春は見事な桜が次の鴨川橋まで楽しめる。その後、西方に進み大谷中前を左折すると、UDトラックス正門にたどり着く。東側の工場の壁に沿ってしばらく走り、突き当たりを斜め左に入る。用水路に沿って南に走ると鎌倉期の阿弥陀三尊立像(市指定文化財)などの仏像を有する西光寺の大屋根が見えてくる。

ところどころ西光寺の本堂は、大正15(1926)年に大旋風に襲われ倒壊している。この大旋風は幅200mほどで、

さいたま市の清河寺付近から発生し、一帯の家屋や田畑などをなぎ倒している。死者9人、重軽傷者71人、家屋倒半壊109戸という甚大な被害をもたらした上尾市域では珍しい自然災害である(『上尾百年史』)。

西光寺から少し進むと大宮花の丘農林公苑の北門となる。公園内は自転車を押しながらのんびりと、春は桜とチューリップを楽しんで、レストランや野菜直売所に立ち寄るのもよいだろう。次号はここから平方地区方面まで訪ねてみたい。

西光寺



会・川島一郎)



西光寺



アッピーを探そう!

右のアッピーが登場するのは? ページ



市の人口・世帯 (平成25年3月1日現在)

22万7,519人

男/11万3,432人

女/11万4,087人

※前月より21人減。

9万4,245世帯

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、4月22日(月)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先: 〒362-8501本町3-1-1
メールアドレス: s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は5月号のこのコーナーで。前号の答えは「20」でした。ご応募ありがとうございました(応募者54人)。

◆『広報あげお』は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅の他、市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。
◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」を利用してください。